

「競争」と「協調」に向けた企業の実践事例 ＝事業統合における知財管理の視点から＝

2015年2月27日

株式会社 **東芝**

技術・イノベーション部 知的財産室

熊谷 英夫

1) 東芝の事業・戦略

2) 事業協調における知財管理の事例

① POS事業(知財文化を交流した事例)

②ヘルスケア事業(知財文化を浸透させた事例)

3) ブランド管理

①事業統合時のブランド管理の考え方



1) 東芝の事業・戦略

2) 事業協調における知財管理の事例

① POS事業(知財文化を交流した事例)

②ヘルスケア事業(知財文化を浸透させた事例)

3) ブランド管理

①事業統合時のブランド管理の考え方



東芝の目指す姿



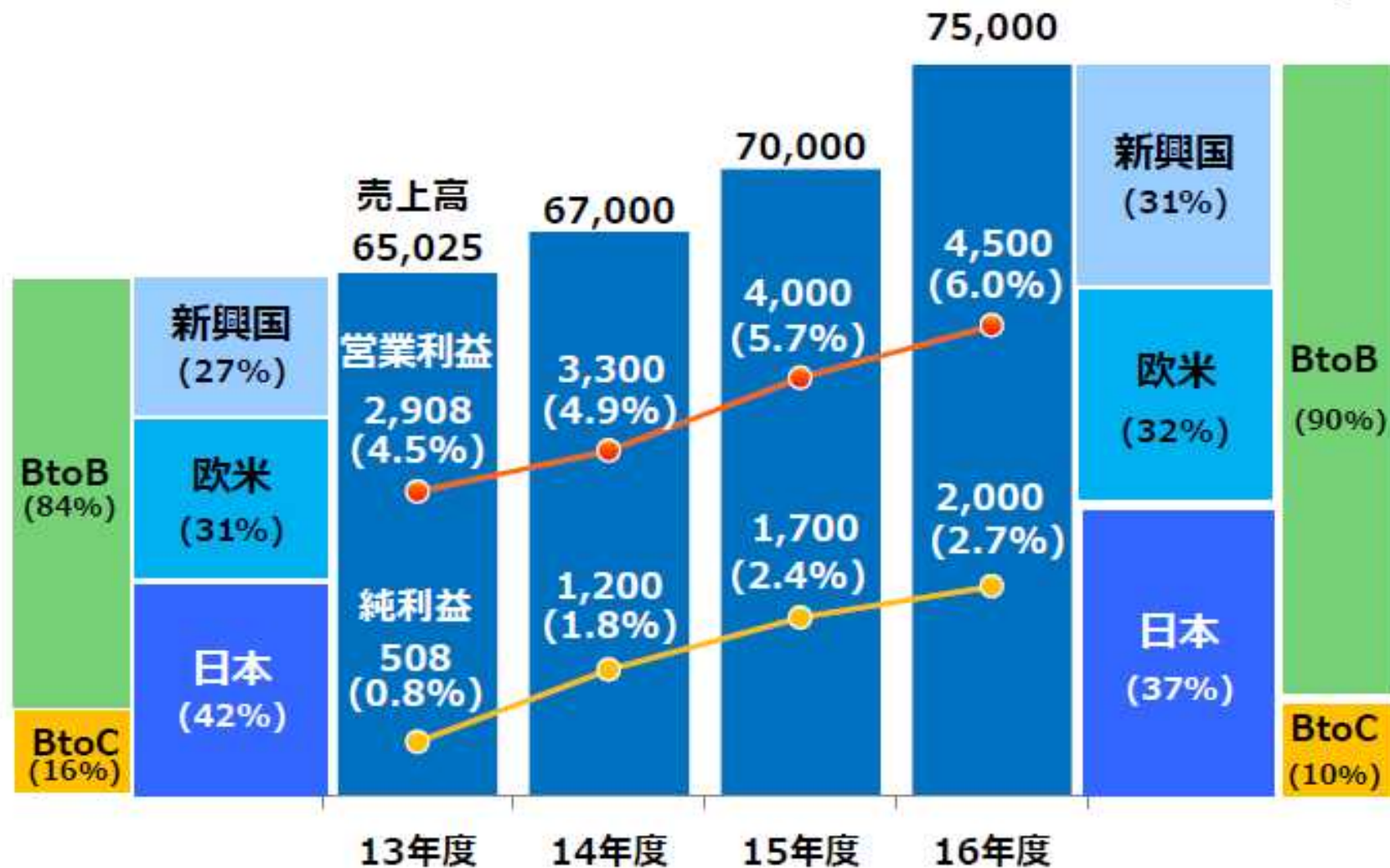
東芝の目指す姿



2016年度見通し

海外比率拡大、BtoBシフト加速で着実に成長

(億円)



「創造的成長の実現」に向けて

価値創造

無限大に存在する事業機会の発掘

ヘルスケア
エネルギー／ストレージ

×

ニュー・コンセプト・イノベーション
オーガニック／M&A

生産性向上

21世紀にふさわしい業務品質実現

財務基盤強化

キャッシュフロー経営強化

1) 東芝の事業・戦略

2) 事業協調における知財管理の事例

① POS事業(知財文化を交流した事例)

②ヘルスケア事業(知財文化を浸透させた事例)

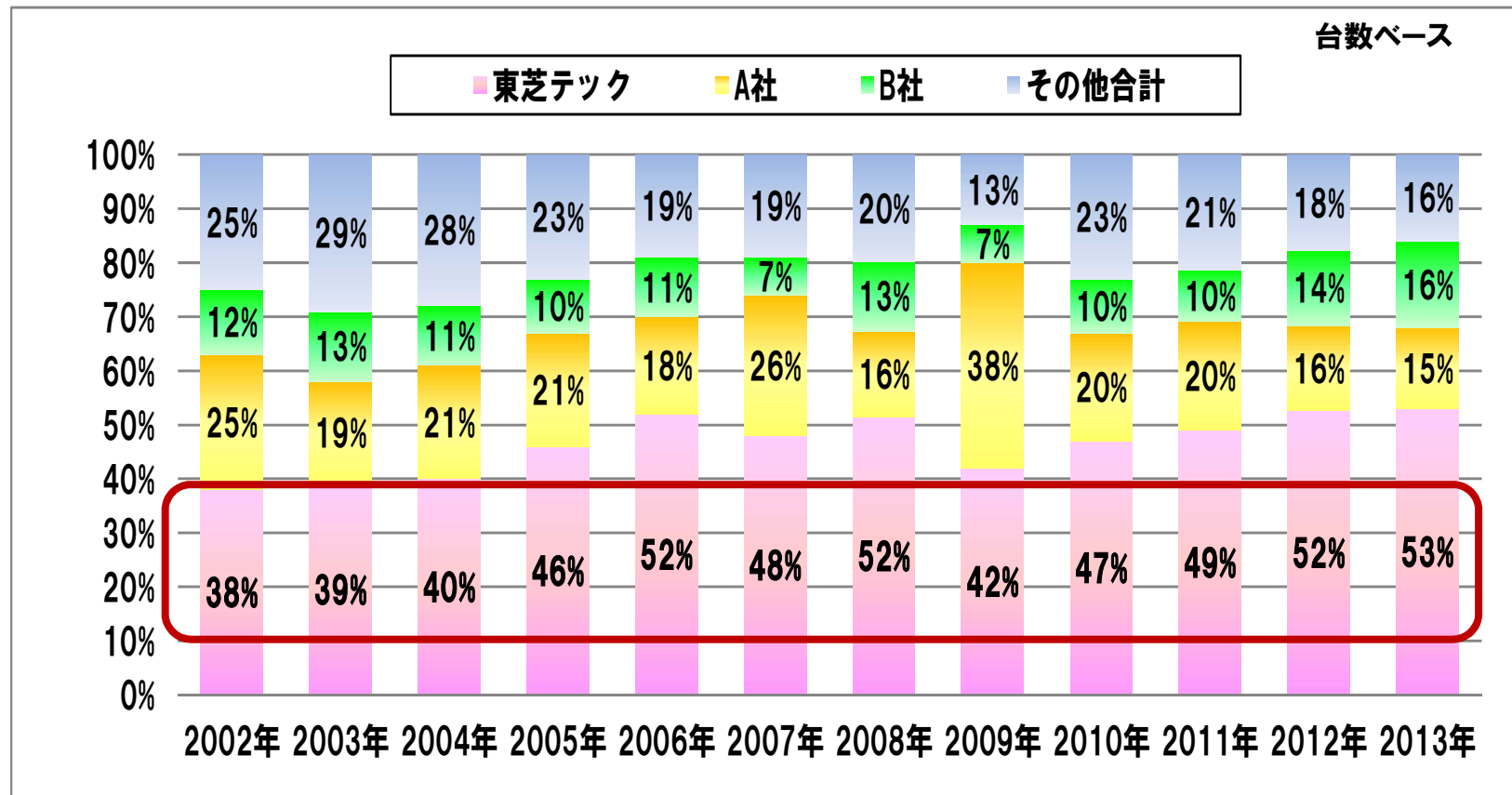
3) ブランド管理

①事業統合時のブランド管理の考え方



東芝テック 国内POSターミナル／市場シェア(実績推移)

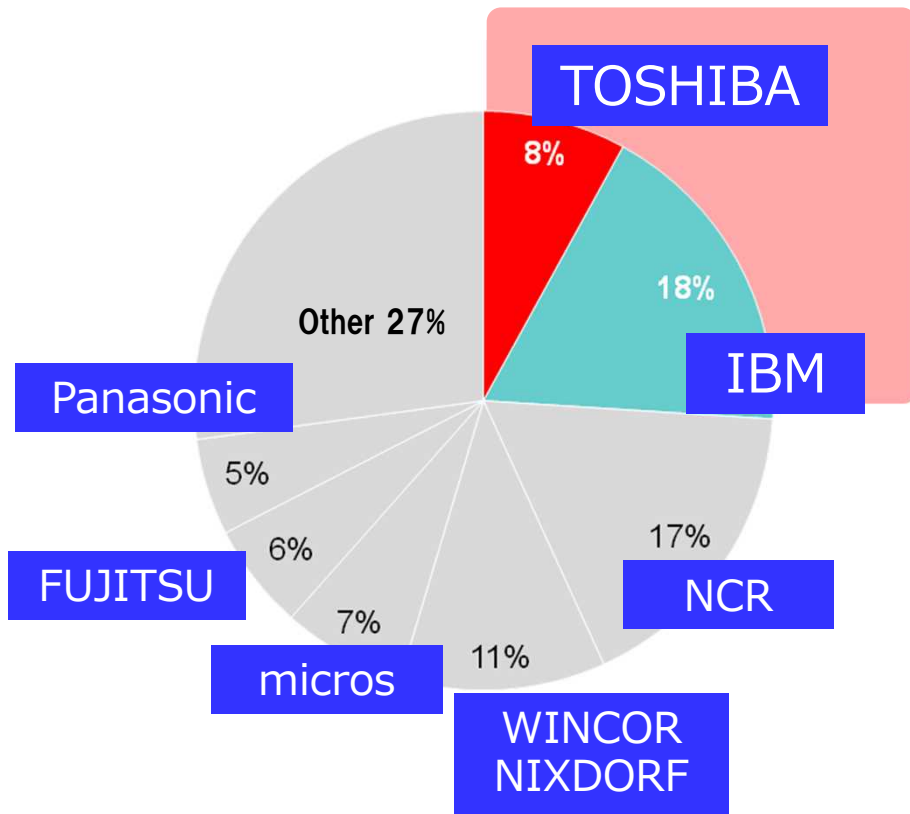
東芝テックは日本市場でNo. 1を維持（12年連続）



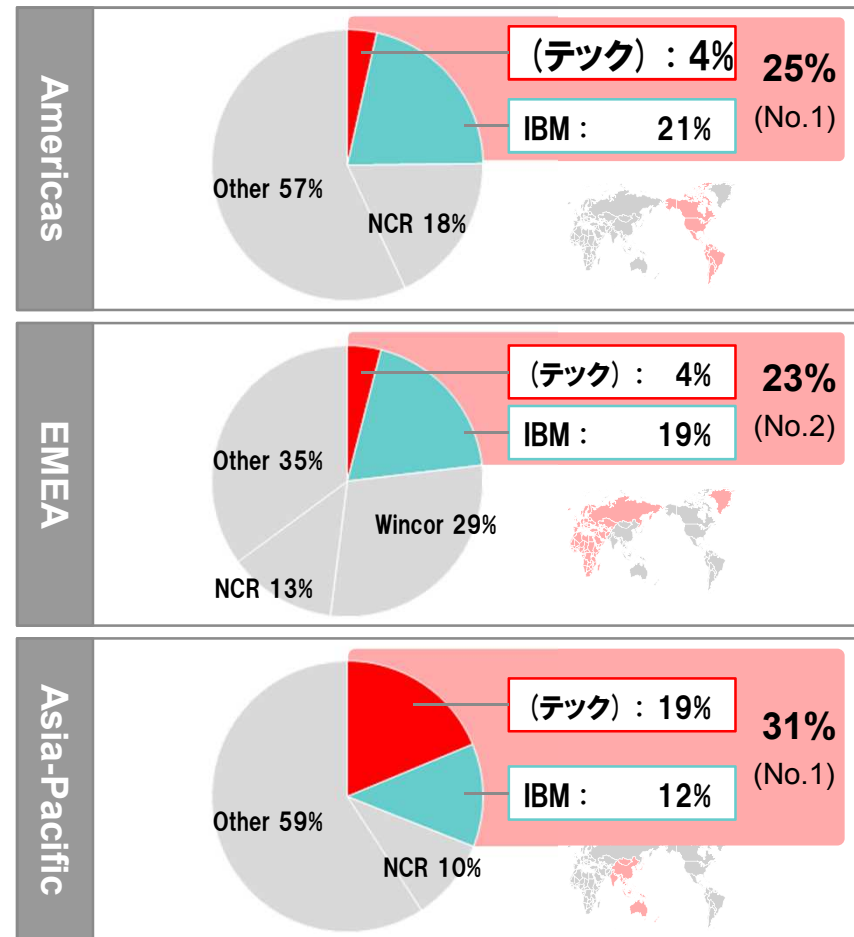
出典：DSS研究所

POS事業買収

グローバル市場での(テック)・Truro市場シェア
(2010年出荷金額ベース)



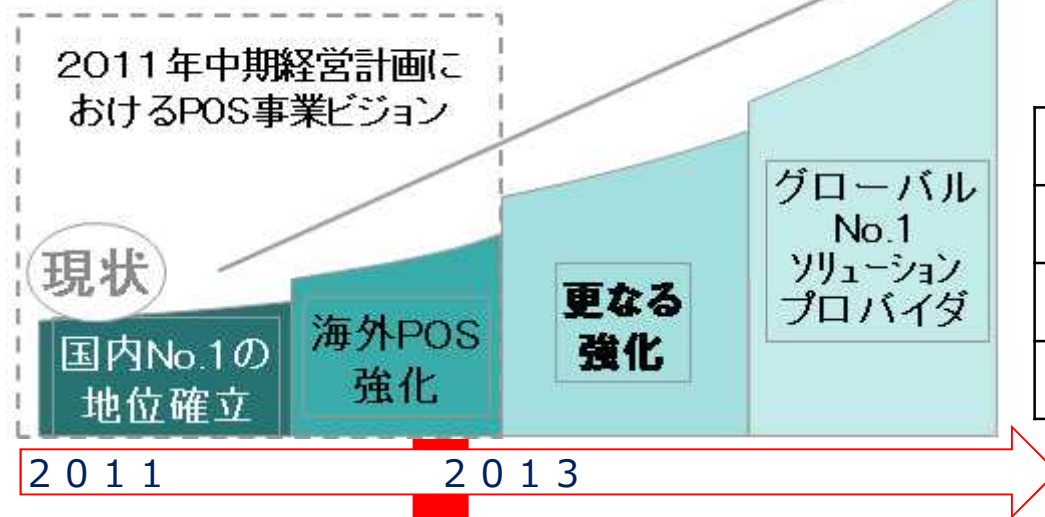
地域別市場での(テック)・Truro市場シェア
(2010年出荷金額ベース)



POS事業買収

東芝テック戦略

中期経営計画



IBM戦略

脱『コモディティ戦略』

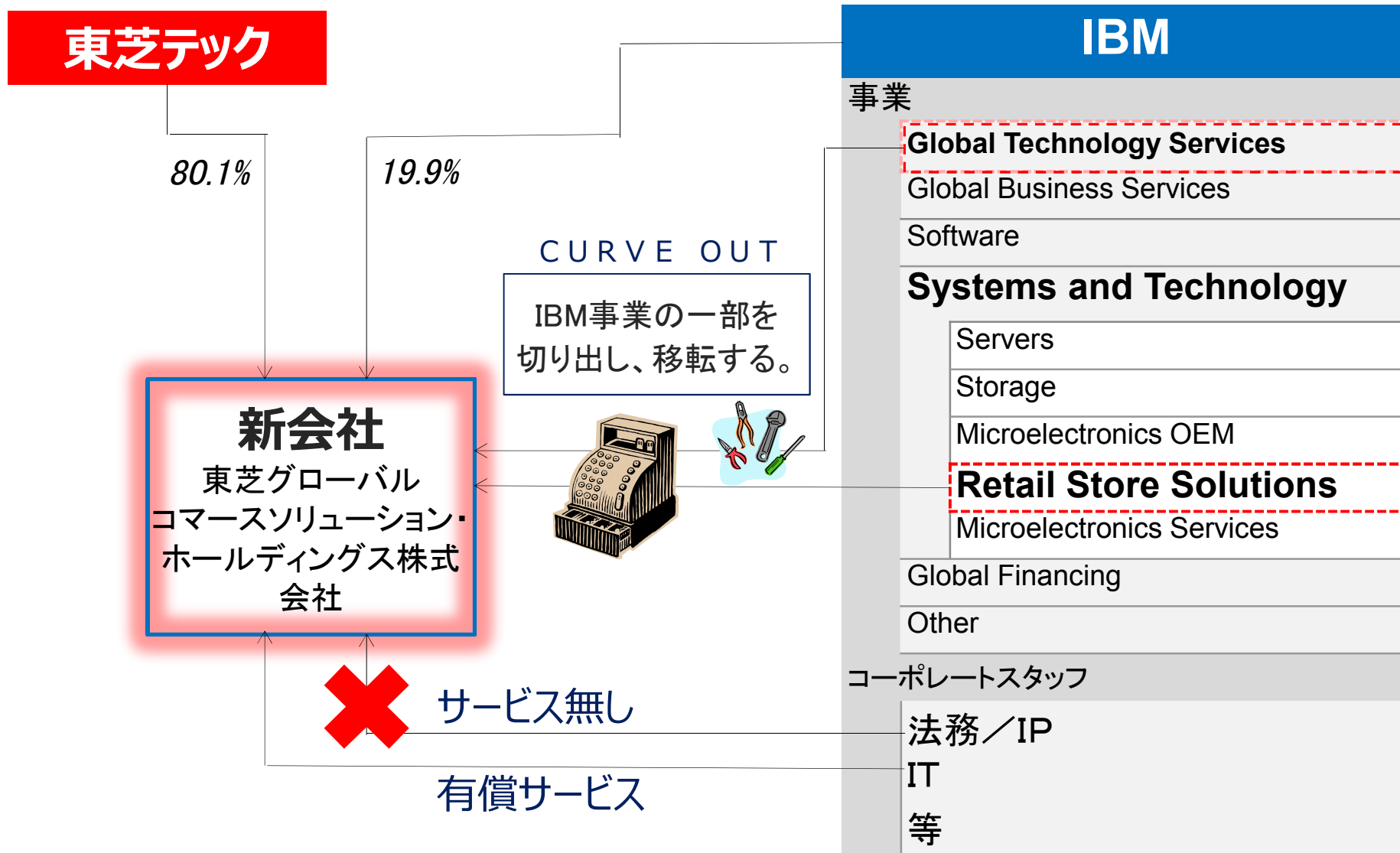
	主な撤退事業	譲渡先企業
2002年	HDD	日立製作所
2005年	PC	レノボ
2007年	デジタル印刷機	リコー

日本一

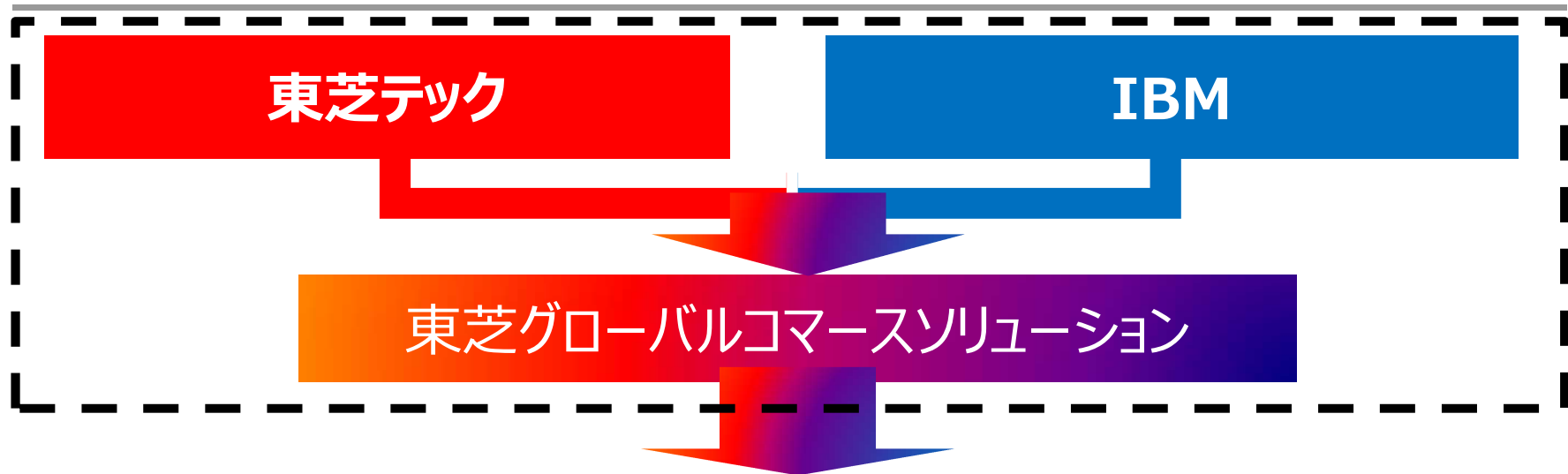
2012年8月1日

世界一

POS事業の買収(買収形態)



買収後の体制



東芝テック全体の中期計画
グローバルワンストップソリューション企業を目指す

計画達成（事業の視点）から、
知財組織運営・活動を再構築する

「モノ」から「モノ+こと」へ

新会社知財管理

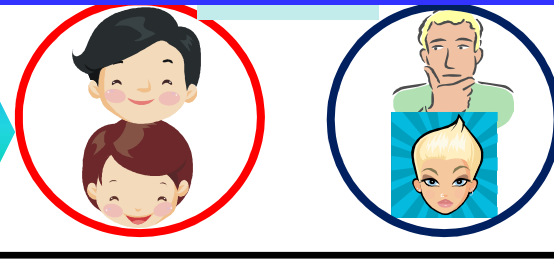
東芝テック (株)

グローバルソリューション事業本部

システムソリューション事業本部

知的財産

良い文化は残し、変える
ものは変える



混成チームによる
知財関連業務、活動

1) 東芝の事業・戦略

2) 事業協調における知財管理の事例

① POS事業(知財文化を交流した事例)

②ヘルスケア事業(知財文化を浸透させた事例)

3) ブランド管理

①事業統合時のブランド管理の考え方



ヘルスケア事業での米国Vital社買収

東芝メディカルシステムズグループ

医療画像診断装置と
各種医療ソリューションを提供

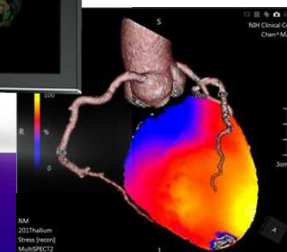
- ・X線診断装置
- ・X線CT装置
- ・超音波診断装置
- ・MRI装置
- ・放射線治療装置
- ・医療情報システム

2011年6月16日完全子会社化

Vital社

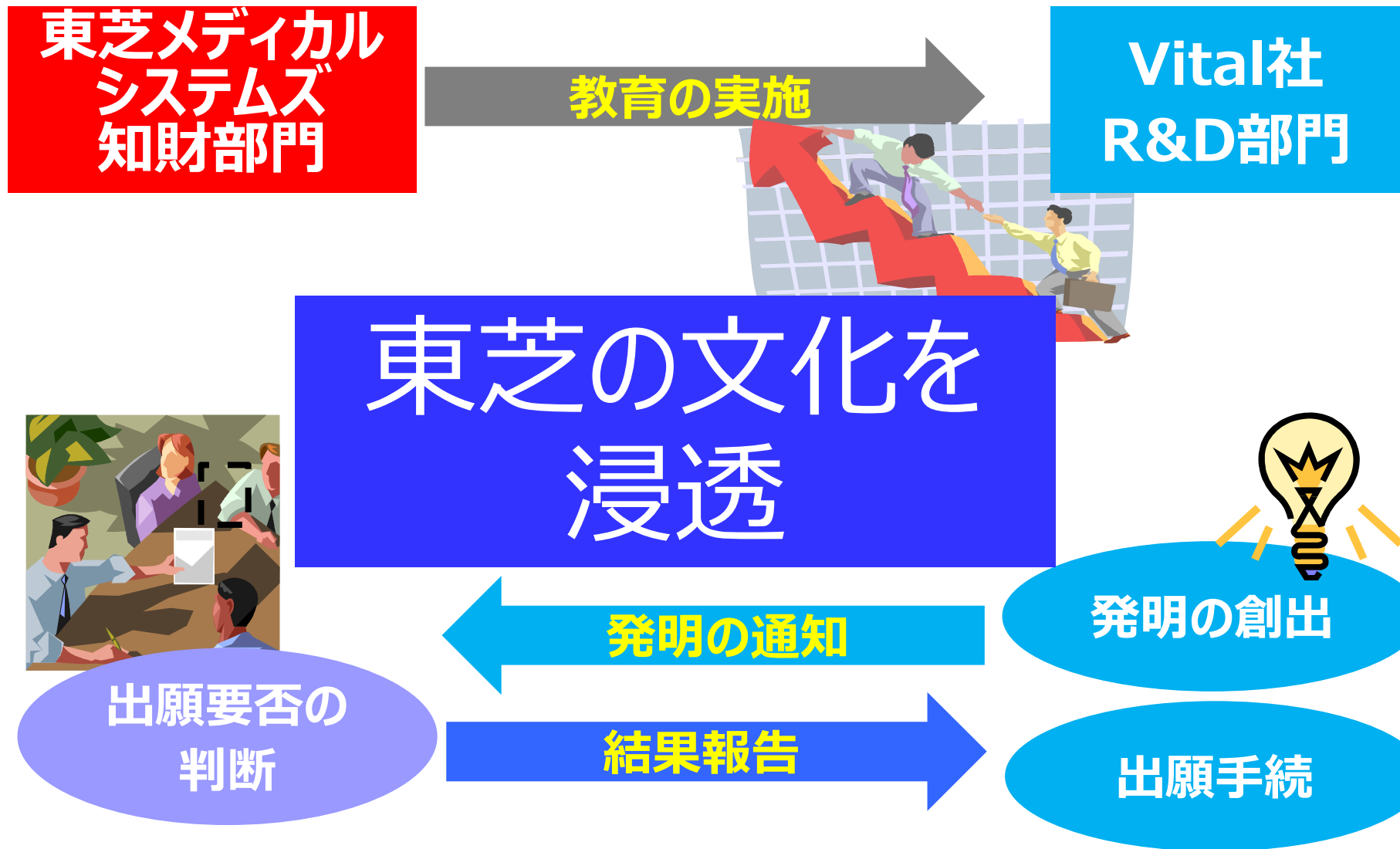
医療画像ソリューション事業

- ・画像処理装置 (CT、MRI等)
- ・画像ネットワークソリューション



医療画像ソリューション領域での事業を
グローバルに企画・推進

グループ特許力強化の取り組み



1) 東芝の事業・戦略

2) 事業協調における知財管理の事例

① POS事業(知財文化を交流した事例)

②ヘルスケア事業(知財文化を浸透させた事例)

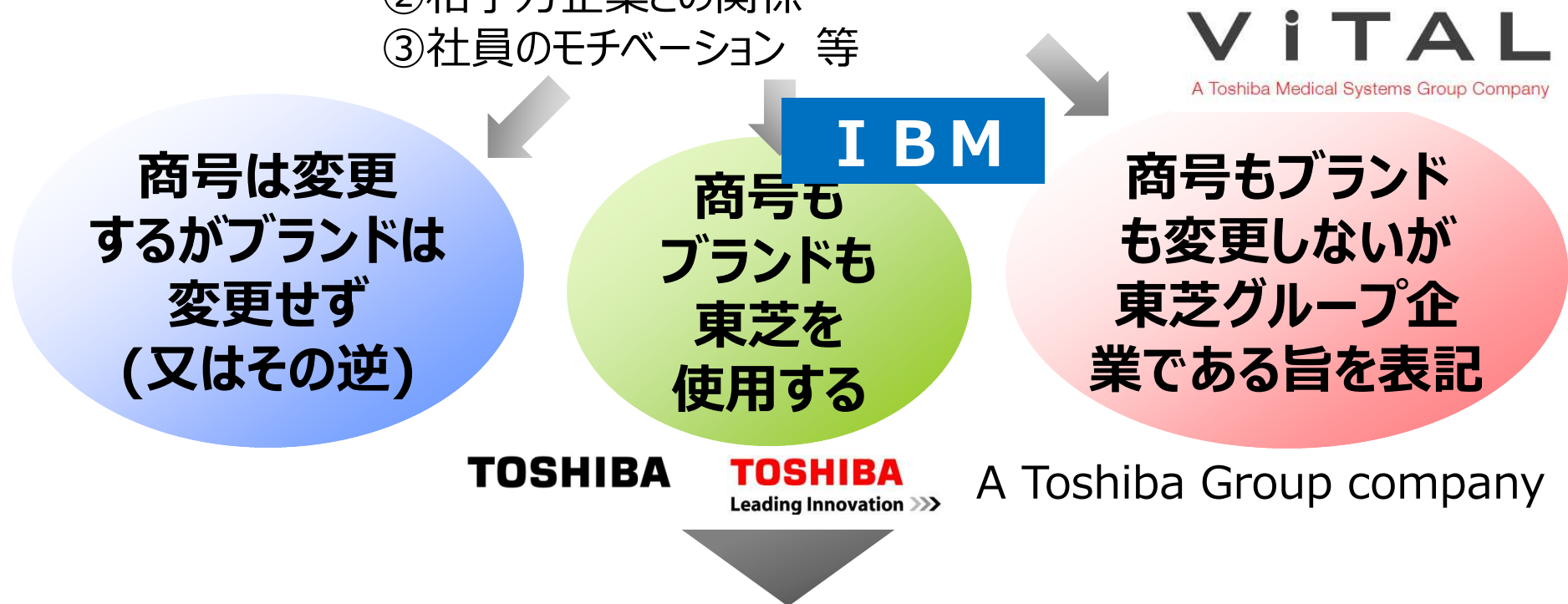
3) ブランド管理

①事業統合時のブランド管理の考え方



① 事業統合時のブランドの考え方

- 東芝冠称・商標使用基準：
一定の基準(株東芝による議決権所有比率等)をクリアした会社は商号に
又はブランド(商標)として東芝を使用できる。
- 考慮すべき事情：①相手方ブランドが確立してきたブランド価値。
②相手方企業との関係
③社員のモチベーション 等



東芝グループの事業にとって最適な効果が見込める

TOSHIBA

Leading Innovation >>>